土木工事標準積算基準〔Ⅰ〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)
I -2-2)-8	第2表	第2表
(①20)	対象額 600 万円 以下 600 万円を超え 1 億円以下 超えるもの	対象額 600 万円 以下 600 万円を超え1億円以下 1億円を 超えるもの
	適用区分 下記の で記の で記の で記の とする。ただし、変数値は下記によ 率	適用区分 下記の (4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記によ率
	T種区分 A B B とする	工種区分
	道路維持工事 24.96 51,908.4499 -0.4895 6.30	道路維持工事 24.96 51,908.4499 -0.4895 6.30
	河川維持工事 12.51 40.2168 -0.0748 10.14	河川維持工事 12.51 40.2168 -0.0748 10.14
	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数 適用済)の値である。	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数 適用済)の値である。
	第3表	第3表
	(略)	(服务)
	第4表	第4表
	(略)	() () () () () () () () () ()
	第5表	第5表
	(略)	(服各)
	平成 26 年 2 月 17 日以降 <u>~平成 26 年 4 月 29 日迄起工適用</u>	平成 26 年 2 月 17 日以降起工適用
I -2-②-8 (①20)	第2表	第2表
(1)20)	対象額 200 万円 以下 200 万円を超え1億円以下 1億円を 超えるもの	対象額 600 万円 以下 600 万円を超え1億円以下 1億円を 超えるもの
	適用区分 下記の (4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記によ率率	適用区分 下記の (4)の算定式により算出された率 下記の とする。ただし、変数値は下記によ 率
	LT種区分 とする A B とする	工種区分 とする
	道路維持工事	道路維持工事
	河川維持工事 13.58 40.2168 -0.0748 10.14	河川維持工事 12.51 40.2168 -0.0748 10.14
	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数 適用済)の値である。	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数 適用済)の値である。
	第3表	第3表
	((服各)
	第4表	第4表
	((服各)
	第5表	第5表
	(町各)	(既各)
	平成 26 年 4 月 30 日以降起工適用	

頁	新(改正後)	旧(現行)						
I -2-②-32	別表第1 現場管理費率標準値	別表第1 現場管理費率標準値						
(1)44)	第1表	第1表						
	(服各)	(略)						
	第2表 対象額 700万円 700 エ四 は 47 え 1 65 円 以 工 1 億円を	第2表 対象額 700万円 700 丁円 1 億円を						
	700 万円を超え 1 億円以下 超えるもの	700 万円を超え1億円以下 超えるもの						
	適用区分 下記の (4)の算定式により算出された率 下記の トナス ただし 亦物値は下記によ 下記の	適用区分 下記の とする。ただし、変数値は下記によ 下記の とする。ただし、変数値は下記によ で記の おお とする。 ただし、 変数値は下記によ でお おお また おお また						
	率	率						
	工種区分 A B とする	工種区分 とする B とする						
	道路維持工事 48.60 317.6400 -0.1191 35.41 河川維持工事 41.16 171.1033 -0.0904 32.36	道路維持工事 48.60 317.6400 -0.1191 35.41 河川維持工事 41.16 171.1033 -0.0904 32.36						
	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数						
	適用済)の値である。	適用済)の値である。						
	第3表	第3表						
	(服各)	(略)						
	平成 26 年 2 月 17 日以降 <u>~平成 26 年 4 月 29 日迄起工適用</u>	平成 26 年 2 月 17 日以降起工適用						
I -2-②-32 (①44)	別表第1 現場管理費率標準値	別表第1 現場管理費率標準値						
(0 /	第1表	第1表						
	(服各)	(略)						
	第2表 対象額 <u>200</u> 万円 200 万円を超え1億円以下 1億円を	第2表 対象額 <u>700</u> 万円 700 万円を招え 1 億円を						
	以下 <u>Zoo カナナ</u> を超えるもの 超えるもの	以下 <u>100</u> カ川を超え118円31 超えるもの						
	適用区分 下記の とする。ただし、変数値は下記によ 下記の さな で記の とする。ただし、変数値は下記によ で記の なお これ である これ	適用区分 下記の とする。ただし、変数値は下記によ						
	マレオス る レオス							
	L種区分 A B	L種区分 A B						
	道路維持工事 56.42 317.6400 -0.1191 35.41 河川維持工事 46.09 171.1033 -0.0904 32.36	道路維持工事 48.60 317.6400 -0.1191 35.41 河川維持工事 41.16 171.1033 -0.0904 32.36						
	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数	※この表は,東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数						
	適用済)の値である。	適用済)の値である。						
	第3表	第3表						
	(服各)	(略)						
	平成 26 年 4 月 30 日以降起工適用							

土木工事標準積算基準〔Ⅰ〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁			新(改正後)						旧(現行)			
II -1-2-4	3-2 バック	 ホウの作業能ス					3-2 バック:					
(1184)	(1) 目当り	施工量					(1) 日当り	施工量				
	バック	ホウによる各位	=業の日当り施工量は,次表を標準と	する。			バック	ホウによる各位	作業の日当り施工量は,次表を標準と	する。		
			表3.4 日当り	施丁量		(1日当り)			表3.4 日当り	施丁量		(1日当り)
			X 31. 1. 11. 11. 1	76.1.5		数量			X or I had	76.— <u>—</u>		数量
	作業の種類	名 称	規格	土質名	単位	障害 障害 なし あり	作業の種類	名 称	規格	土 質 名	単位	障害 障害 なし あり
			排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	m3	270 171			排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	m3	270 171
	11 - ' '		クローラ型山積 0.8m3(平積 0.6m3)	岩塊・玉石	11	207 126] ' - ' ' ' ' ' ' '	バックホウ		岩塊・玉石	IJ	207 126
	掘 削 積 込	運転	排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土,砂・砂質土,粘性土	"	450 288	掘 削 積 込	運転	排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	IJ	450 288
			クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	岩塊・玉石	11	369 234			クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	岩塊・玉石	IJ	369 234
			排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	279			排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	279
			クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	岩塊・玉石、岩(破砕)	"	234			クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	岩塊・玉石、岩(破砕)	"	234
			排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	468	ルーズな		排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	468
	状態の積込み	連 転	クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3) 排出ガス対策型 (第1次基準値)	岩塊・玉石、岩(破砕)	"	396	状態の積込み	運転	クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3) 排出ガス対策型 (第 1 次基準値)	岩塊・玉石、岩(破砕)	<i>"</i>	396
			排出ガス対東型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土 岩塊・玉石、岩(破砕)	"	144			排出ガス対東型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土 岩塊・玉石、岩(破砕)))))	144 117
			排出ガス対策型 (第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	220 180			排出ガス対策型 (第2次基準値)	レキ質土,砂・砂質土,粘性土		220 180
	 床 堀 り	バックホウ	7/ A// / /// / /// / /// / /// / /// / /// /	岩塊・玉石	"	160 130	 _{床 堀 り}	バックホウ		岩塊・玉石	"	160 130
	(作業土工)		排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	150 100	(作業土工)	運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土		150 100
			クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)		"	110 70			クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)		"	110 70
II -1-2-4 (1)184)	3-2 バック (1) 日当り バック	施工量] 業の日当り施工量は,次表を標準と	する。			3-2 バック (1) 日当り; バック	施工量	カ 作業の日当り施工量は,次表を標準と	する。		
			表3.4 日当り	施工量		(1日当り)			表3.4 日当り	施工量		(1日当り)
			X 3. 1 7 3 7			数量			X 3. 1 F3 7	WE TO THE TOTAL PROPERTY OF THE TOTAL PROPER		数量
	作業の種類	名 称	規格	土 質 名	単位	障害 障害 なし あり	作業の種類	名 称	規格	土 質 名	単位	障害 障害 なし あり
			排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	m3	<u>240</u> <u>152</u>			排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	m3	<u>270</u> <u>171</u>
			クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	岩塊・玉石	"	<u>184</u> <u>112</u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	バックホウ		岩塊・玉石	IJ	<u>207</u> <u>126</u>
	掘 削 積 込	運転	排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	<u>400</u> <u>256</u>	掘 削 積 込	運転		レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	<u>450</u> <u>288</u>
			クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	岩塊・玉石	"	<u>328</u> <u>208</u>			クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	岩塊・玉石	"	<u>369</u> <u>234</u>
			排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	248			排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	<u>279</u>
		以一九十九	クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	岩塊・玉石、岩(破砕)	"	208		10000000000000000000000000000000000000	クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	岩塊・玉石、岩(破砕)	"	234
	状態の積込み		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積1.4m3(平積1.0m3)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土 岩塊・玉石、岩(破砕)	"	416 352	ル ー ズ な 状態の積込み		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積1.4m3(平積1.0m3)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土 岩塊・玉石、岩(破砕)))))	468 396
	小思り慎心の	座 料	排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	128		(年 料	排出ガス対策型(第1次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	"	144
i					"	104			クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	岩塊・玉石、岩(破砕)	"	117
			クローラ型山積0 45m3(平積0 35m3)		,,				ク・クエ西模の femo(下模の como)	71 76 -1 1 (HXH)		220 180
			クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)]]	1 220 I 180			排出ガス対策型 (第2次基準値)	レキ質十. 砂・砂質十. 粘性十	IJ	
	床 堀 り	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	<i>11</i>	220 180 160 130	床 堀 り	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)	レキ質土、砂・砂質土、粘性土 岩塊・玉石	JJ	
	床 堀 り (作業土工)					220 180 160 130 150 100			クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土 岩塊・玉石 レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土		160 130 150 100
			排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土 岩塊・玉石 レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	160 130	{		クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	岩塊・玉石		160 130
			排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 排出ガス対策型 (第1次基準値)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土 岩塊・玉石 レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	11	160 130 150 100	{		クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 排出ガス対策型 (第 1 次基準値)	岩塊・玉石 レキ質土、砂・砂質土、粘性土	11	160 130 150 100
	(以下略)		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積0.8m3 (平積0.6m3) 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土 岩塊・玉石 レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	11	160 130 150 100	(作業土工)		クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 排出ガス対策型 (第 1 次基準値)	岩塊・玉石 レキ質土、砂・砂質土、粘性土	11	160 130 150 100

頁					新(改正後)								旧(現行)			
II −1−④− 2 (①211))施工歩掛 3 当 N 施工量)	は,次表を標準とす	· X					ト作業の施工 - 1 ロ当り		は,次表を標準とす	· Z				
(1)211)	3	1 +	コヨッ心工事(1 нау	心工里は						
				表 3.	1 各作業の日当り施工量 T	単	К	(1日当り) 数 量				表3.	1 各作業の日当り施 T	五工量	単	数	(1日当り) 量
	作	業	工種	機種	規格	位			作美	美 工程	種	機種	規格	}	位		障害あり
					排出ガス対策型(第1次基準値 普通15t級)	621	315			,,		排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	第1次基準値)		621	315
			路体 •		排出ガス対策型(第1次基準値 普通 21 t 級)	882	513		路(排出ガス対策型(第 普通 21 t 級	第1次基準値)		882	513
	均	敷均	築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値 湿地16t級) m;	504	315	敷均	均		ブルドーザ	排出ガス対策型(第 湿地 16 t 級	第1次基準値)	m3	504	315
	ا •				排出ガス対策型(第1次基準値 普通15t級)	486	252					排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	第1次基準値)		486	252
	締固		路床		排出ガス対策型(第1次基準値 普通21t級)	693	405	締固	路月	床		排出ガス対策型(第 普通 21 t 級	第1次基準値)		693	405
	め		路体・築堤		排出ガス対策型(第1次基準値)	1197	504	1 1 1	締 路体・			排出ガス対策型(第	(1 次 基 進 値)		1197	504
		固 め	路床	タイヤローラ	8~20 t	m;	522	144		固 め 路		タイヤローラ	8~20 t	(I) (II)	m3 -	522	144
			路体		排出ガス対策型(第1次基準値 普通15t級)	369	171		路位	体		排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	第1次基準値)		369	171
		致 匀	• 築堤		排出ガス対策型(第1次基準値 普通21t級)	540	225	敷均				排出ガス対策型(第 普通 21 t 級	第1次基準値)		540	225
		帝		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値 湿地16t級) m:	306	144	しん	·		ブルドーザ	排出ガス対策型(第 湿地 16 t 級	第1次基準値)	m3	306	144
		国 う	路床		排出ガス対策型(第1次基準値 普通15t級)	216	117	固め		床		排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	第1次基準値)		216	117
					排出ガス対策型(第1次基準値 普通 21 t 級)	324	135					排出ガス対策型(第 普通 21 t 級	第1次基準値)		324	135
		略) 2 補助 機板		し及び敷均し締固め	作業の補助として,次表を計上す	− 5 。			3 - 2	2 補助労務		-及び敷均し締固め	作業の補助として、	次表を計上する。			
				表3.	2機械補助労務	(100r	n3 当り)					表3.	2機械補助労務		(100m3	当り)	
		作業	エ	種	名 称 単位	数	量			作業	エ	種	名 称	単位	数 量	Ł	
	敷	均 •	と 路床	天・築堤	普通作業員 人	0. 2	22		敷	均し・		築堤	普通作業員	人	0. 22		
	敷	匀し締固	b	路床	11 11	0. 3	33		敷均	し締固め	路	各床	"	"	0. 33		
					平成 25 年 10 月	11日以降	·~平成 26 ⁴	平 4 月 29 日 <u>迄起工適用</u>									

頁					新(改正後)								旧(現行))			
II-1-4-2			の施工歩掛の米の株工量が	ナールまた亜維しせ	- 7					各作業の施		ナー 歩また 亜維しせ	· 7				
(①211)	3	-1	コヨり施工軍に	は, 次表を標準とす	る。				3 -	-1 月当	り施工軍は	は,次表を標準とす	る。				
		1	ı	表3.	1 各作業の日当り施工量	1	1	(1日当り)				表3.	1 各作業の日当り施	工量	1 1		(1日当り)
	作	業	工種	機種	規格	単位		<u>生</u> 「障害あり	作	業	工種	機 種	規格		単位	数 標準	量 障害あり
					排出ガス対策型(第1次基準信 普通 15 t 級		<u>552</u>	280					排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	51次基準値)		<u>621</u>	315
			路体 •		排出ガス対策型(第1次基準信 普通21t級	直)	<u>784</u>	456			路体 •		排出ガス対策型(第 普通 21 t 級	51次基準値)		882	<u>513</u>
		敷均	築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値 湿地 16 t 級	直) m:	3 448	280	敷均	均	築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第 湿地 16 t 級	51次基準値)	m3	<u>504</u>	315
	L	レー			排出ガス対策型(第1次基準信 普通 15 t 級	直)	432	224	L				排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	51次基準値)		486	252
	締固		路床		青通 15 t 級 排出ガス対策型(第 1 次基準値 普通 21 t 級	直)	616	360	締固	B	路床		普通 15 t 級 排出ガス対策型(第 普通 21 t 級	51次基準値)		693	405
	め		路体・築堤		排出ガス対策刑 (第1 次其準値	古)	1064		め_	締 路体	· 築堤		背通 21 t 級	51 沙 其潍庙)		1197	<u>504</u>
		固 —	路床	タイヤローラ	8~20 t	m;	464	128		固 め 路	路床	タイヤローラ	8~20 t	7.1 八坐中间/	m3 -	522	144
			路体		排出ガス対策型(第1次基準値 普通 15 t 級	直)	328	<u>152</u>		F	路体		排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	51次基準値)		369	<u>171</u>
	1 1	数 匀	• 築堤		排出ガス対策型(第1次基準信 普通 21 t 級	直)	480	200	敷	τ .	• 築堤		排出ガス対策型(第 普通 21 t 級	51次基準値)		540	225
		が一) (/ C	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準 湿地16t級	直) m:	3 272	128	し			ブルドーザ	排出ガス対策型(第 湿地 16 t 級	51次基準値)	m3	306	144
	[国 あ	路床		排出ガス対策型(第1次基準信 普通15t級	直)	<u>192</u>	104	固め	1	路床		排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	51次基準値)		<u>216</u>	<u>117</u>
			2821		排出ガス対策型(第1次基準信 普通21t級	直)	288	120					排出ガス対策型(第 普通 21 t 級	51次基準値)		324	<u>135</u>
		略) 2 補原 機材		し及び敷均し締固め	作業の補助として,次表を計上	する。			3-2	2 補助労績		し及び敷均し締固め	作業の補助として,と	欠表を計上する。			
				表3.	2機械補助労務	(100r	n3 当り)					表3.	2機械補助労務		(100m3	当り)	
		作業	エ	種	名 称 単位	数	量			作業	エ	種	名 称	単位	数 量	I.	
	敷	均 •	し 路床	天・築堤	普通作業員 人	0. 2	<u>25</u>		敷	均 ・	路床	・築堤	普通作業員	人	<u>0. 22</u>		
	敷	匀し締固	i d	路床	II II	0. 3	88		敷均	刀し締固め	5	路床	11	"	0.33		
							<u>平成 26 年 4</u>	1月30日以降起工適用									

土木工事標 頁 II-1-④-3 (①212)

-④-3 4.狭隘な箇所の施工歩掛 212) 4-1 適用範囲

路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。

新(改正後)

表4.1 機種の選定

			- 1/412 1 (2)2
作業	施工幅員(W)	機械名	規格
	$2.5 \text{m} \leq \text{W} \leq 4.0 \text{m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級
敷均し	W<2.5m	人力土工	「第Ⅱ編第1章土工⑥−1人力土工(土砂)」
	W \ 2. 5III	八刀工工	3-5 人力盛土(埋戻し)による
	1. 0m≤W<4. 0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)
締 固 め	1. 0 III ≥ W < 4. 0 III	が到ローノ	搭乗式・コンバインド型 3~4 t
	W<1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8 t ~1.1 t

- (注) 1. 上表により難い場合は別途考慮する。
 - 2. 振動ローラは賃料とする。

4-2 日当り作業量

各作業の日当り作業量は,次表を標準とする。

表4.2 敷均し作業の日当り作業量

(1日当り)

作業	工種	機械名	規格	単位	数量
敷均し	路 路 床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	117

(注) 敷均し作業の仕上り厚さは 0.2~0.3 m とする。

表4.3 締固め作業の日当り作業量

(1月当り)

	作 業	締固め度期待値	機械名	規格	単位	数量
		路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	m3	90
糸	帝 固 め			ハンドガイド式 0.8~1.1 t	"	50
不	中间《》	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	11	108
				ハンドガイド式 0.8~1.1 t	11	63

4-3 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表 4. 4 機械補助労務 (100m3 当り)

名 称	単 位	数量
普通作業員	人	0. 33

5. 残土受入れ地での処理

5-1 適用範囲

本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。 なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。

5-2 機種の選定

ブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級を標準とする。

平成25年10月1日以降~平成26年4月29日迄起工適用

4. 狭隘な箇所の施工歩掛

4-1 適用範囲

路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。

旧(現行)

表4.1 機種の選定

		五1.	
作 業	施工幅員(W)	機械名	規格
	$2.5 \text{m} \leq \text{W} \leq 4.0 \text{m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級
敷均し	W<2.5m	人力土工	「第Ⅱ編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」
	W \ 2. 5III	八刀工工	3-5 人力盛土(埋戻し)による
	1. 0m≤W<4. 0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)
締 固 め	1. 0 III ≥ W < 4. 0 III	が動ローノ	搭乗式・コンバインド型 3~4 t
	W<1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8 t ~1.1 t

- (注) 1. 上表により難い場合は別途考慮する。
 - 2. 振動ローラは賃料とする。

4-2 日当り作業量

各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。

表4.2 敷均し作業の日当り作業量

(1日当り)

作業		エ	種	機	械	名	規格	単位	数量
敷均	し	路路線均	体 床 是等	ブノ	レドー	ーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	117

(注) 敷均し作業の仕上り厚さは 0.2~0.3 m とする。

表4.3 締固め作業の日当り作業量

(1日当り)

作業	締固め度期待値	機械名	規格	単位	数量
11 210	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	m3	90
締固め			ハンドガイド式 0.8~1.1 t	"	50
締固め	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	"	108
			ハンドガイド式 0.8~1.1 t	11	63

4-3 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表 4. 4 機械補助労務 (100m3 当り)

名 称	単 位	数 量
普通作業員	人	0.33

5. 残土受入れ地での処理

5-1 適用範囲

本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。 なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。

5-2 機種の選定

ブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15 t 級を標準とする。

新(改正後) II -1-4-3 4. 狭隘な箇所の施工歩掛 (1)2124-1 適用範囲 路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場 合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。 表4.1 機種の選定

作業	施工幅員(W)	機械名	規格
	$2.5 \text{m} \leq \text{W} \leq 4.0 \text{m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級
敷均し	W<2.5m	人力土工	「第Ⅱ編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」
	W \ 2. 5 m	八刀工工	3-5 人力盛土(埋戻し)による
	$1.0 \text{m} \leq \text{W} < 4.0 \text{m}$	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)
締 固 め	1. 0 III ≥ W < 4. 0 III	が動ローノ	搭乗式・コンバインド型 3~4 t
	W<1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8 t ~1.1 t
			•

- (注) 1. 上表により難い場合は別途考慮する。
 - 2. 振動ローラは賃料とする。

4-2 日当り作業量

各作業の日当り作業量は,次表を標準とする。

表4.2 敷均し作業の日当り作業量

(1日当り)

					(= , , , , ,
作業	工種	機械名	規格	単位	数量
敷均し	路 路 床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	<u>104</u>

(注) 敷均し作業の仕上り厚さは 0.2~0.3 m とする。

表4.3 締固め作業の日当り作業量

(1日当り)

作業	締固め度期待値	機械名	規格	単位	数量
	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	m3	<u>80</u>
締固め			ハンドガイド式 0.8~1.1 t	"	<u>44</u>
种 迫 《》	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	<i>II</i>	<u>96</u>
			ハンドガイド式 0.8~1.1 t	"	<u>56</u>

4-3 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表 4 . 4 機械補助労務 (100m3 当り)

名 称	単 位	数量
普通作業員	人	<u>0. 38</u>

5. 残土受入れ地での処理

5-1 適用範囲

本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。 なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。

5-2 機種の選定

ブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通15 t級を標準とする。

平成 26 年 4 月 30 日以降起工適用

4. 狭隘な箇所の施工歩掛

4-1 適用範囲

路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場 合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。

旧(現行)

表4.1 機種の選定

		五1.	
作 業	施工幅員(W)	機械名	規格
	$2.5 \text{m} \leq \text{W} \leq 4.0 \text{m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級
敷均し	W<2.5m	人力土工	「第Ⅱ編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」
	W \ 2. 5III	八刀工工	3-5 人力盛土(埋戻し)による
	1. 0m≤W<4. 0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)
締 固 め	1. 0 III ≥ W < 4. 0 III	が動ローノ	搭乗式・コンバインド型 3~4 t
	W<1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8 t ~1.1 t

- (注) 1. 上表により難い場合は別途考慮する。
 - 2. 振動ローラは賃料とする。

4-2 日当り作業量

各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。

表4.2 敷均し作業の日当り作業量

(1日当り)

	作	業	4pst	エ	種	機	械	名	規格	単位	数量
旉	文	均	J	路路築均	体床	ブル	レドー	ーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	<u>117</u>

(注) 敷均し作業の仕上り厚さは 0.2~0.3m とする。

表4.3 締固め作業の日当り作業量

(1日当り)

			, a s i s i s i s i s i s i s i s i s i s		· · · · ·
作業	締固め度期待値	機械名	規格	単位	数量
	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	m3	<u>90</u>
締固め			ハンドガイド式 0.8~1.1 t	"	<u>50</u>
种 迫 炒	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	"	<u>108</u>
			ハンドガイド式 0.8~1.1 t	11	<u>63</u>

4-3 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表 4 . 4 機械補助労務 (100m3 当り)

名 称	単 位	数量
普通作業員	人	<u>0. 33</u>

5. 残土受入れ地での処理

5-1 適用範囲

本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。 なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。

5-2 機種の選定

ブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通15 t級を標準とする。

5-3 施工学掛 (略) (略) (略) 6. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均し100m3 当り単価表 (略) (略) (略) (略) (2) タイヤローラ締固め 100m3 当り単価表 (2) タイヤローラ締固め 100m3 当り単価表 (略) (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m3 当り単価表 (第) (略) (略)	コード番号 S115 格 単位 数 量 摘 要			新(改正	後)						旧(到	現行)				
6. 単 価 表 6. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均し100m3 当り単価表 (略) (路) (路) (2) タイヤローラ締固め100m3 当り単価表 (2) タイヤローラ締固め100m3 当り単価表 (略) (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め100m3 当り単価表 (略) (略) (略)		5-3 施工歩掛							5-3 施工歩掛							
 (1) ブルドーザ敷均し100m3 当り単価表 (略) (略) (路) (2) タイヤローラ締固め100m3 当り単価表 (路) (略) (略) (略) (いた) 	本 単位 数量 摘要 本基準値) 日 100/D 表 4.2	(略)							(略)							
(略) (略) ((略) (2) タイヤローラ締固め 100m3 当り単価表 (略) (略) (第) (第) (第) (第) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略)	本 単位 数量 摘要 大基準値) 日 100/D 表 4.2															
(2) タイヤローラ締固め 100m3 当り単価表 (2) タイヤローラ締固め 100m3 当り単価表 (略) (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m3 当り単価表 (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m3 当り単価表 (略) (略)	本 単位 数量 摘要 本基準値) 日 100/D 表 4. 2	(1) ブルドーザ敷:	勾し 100m3 当り単価 ₹	表					(1)ブルドーザ敷均	Jし 100m3 当り単	価表					
(略) (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m3 当り単価表 (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m3 当り単価表 (略) (略)	本 単位 数量 摘要 大基準値) 日 100/D 表 4.2	(略)							(略)							
(3) ブルドーザ敷均し締固め 100m3 当り単価表 (略) (略) (略)	本 単位 数量 摘要 大基準値) 日 100/D 表 4.2	(2) タイヤローラ	締固め 100m3 当り単	·価表					(2) タイヤローラ綺	5固め 100m3 当り	単価表					
(略)	本 単位 数量 摘要 本基準値) 日 100/D 表 4. 2	(略)							(略)							
	コード番号 S 1 1	(3) ブルドーザ敷	均し締固め 100m3 当	り単価表					(3)ブルドーザ敷均	Jし締固め 100m3	当り単価表					
	コード番号 S 1 1	(略)							(略)							
(4) 3 t ブルドーザ敷均し 100m3 当り単価表 コード番号 S 1 1 5 6	(基準値) 日 100 / D 表 4.2	(4) 3 t ブルドー	ザ敷均し 100m3 当り	単価表			コード番号 S	1 1 5 6	(4) 3 t ブルドーサ	*敷均し 100m3 当	り単価表		[コード番	:号	S 1 1
名 称	月 100/ 日 表 4. 2	名 称	;		単位数	量	摘 要		名 称			単位	数量	T	摘 要	
ブルドーザ運転 排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級 日 100/D 表4.2 ブルドーザ運転 排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	人 0.33 表 4.4	ブルドーザ運車		(第1次基準値)	日 100	0/D	表 4.2		ブルドーザ運転		型(第1次基準値)	日	100/D	表 4.2		
		普 通 作 業 員			人 0	0. 33	表 4. 4		普 通 作 業 員			人	0. 33	表 4. 4		
諸 雑 費 式 1 諸 雑 費 式 1	式 1		H. C.		式	1			諸 雑 費			式	1			
計 計		計							計							
				_				1								
<u>平成 25 年 10 月 1 日以降~平成 26 年 4 月 29 日迄起工適用</u>				<u>平</u>	Z成 25 年 10 月 1 日	□以降~□	平成 26 年 4 月 29 日迄	起工適用								

	新(改正後)			旧(現行)	
5-3 施工歩掛				5-3 施工歩掛	
(略)				(略)	
6. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均し	し 100m3 当り単価表			6. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均し100m3当り単価表	
(略)				(略)	
(2) タイヤローラ締届	固め 100m3 当り単価表			(2) タイヤローラ締固め 100m3 当り単価表	
(略)				(略)	
(3) ブルドーザ敷均し	し締固め 100m3 当り単価表			(3)ブルドーザ敷均し締固め 100m3 当り単価表	
(略)				(略)	
(4) 3 t ブルドーザ	敷均し 100m3 当り単価表		コード番号 S1156		6
名称ブルドーザ運転	規格	単位 数 量	摘 要		_
	普通3 t 級			Balata Balata	
1			表 4. 4		
計		1		計	
		平成	戈 26 年 4 月 30 日以降起工適用	用	
	5-3 施工歩掛 (略) 6. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均 (略) (2) タイヤローラ締 (略) (3) ブルドーザ敷均 (略) (4) 3 t ブルドーザ 名 称 ブルドーザ運転 普 通 作 業 員 諸 雑 費	新(改正後) 5-3 施工歩掛 (略) 6. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均し100m3当り単価表 (略) (2) タイヤローラ締固め100m3当り単価表 (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め100m3当り単価表 (略) (4) 3 t ブルドーザ敷均し100m3当り単価表 名 称 規 格 ブルドーザ運転 排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級 普 通 作 業 員 諸 雑 費	(略) 6. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均し100m3当り単価表 (略) (2) タイヤローラ締固め100m3当り単価表 (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め100m3当り単価表 (略) (4) 3 t ブルドーザ敷均し100m3当り単価表 名 称 規 格 単位 数 量 ブルドーザ運転 排出ガス対策型(第1次基準値) 音通3 t 級 音通3 t 級 計 3 t 級 計 1 100/D	新(改正後) 5-3 施工歩掛 (略) 6. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均し100m3当り単価表 (略) (2) タイヤローラ総図め100m3当り単価表 (略) (3) ブルドーザ敷均し総図め100m3当り単価表 (略) (4) 3 (ブルドーザ敷均し200m3当り単価表 (略) 2 上下番号 S115 を 務 規 格 単位 数 様 版 受 が 指 変 が が が が が が が が が が が が が が が が が	1 (現行) 1 (現行)

十十二東西淮建管甘淮〔1〕(亚成95年10日1日) 英四對昭丰

頁					新(改正後)								
1-4-6	4 -2	土の敷均	引し (ルーズ)							4-1	2 土の敷	均し (ルーズ)	
D215)	1	用範	III							1 1	適 用 範	#	
	. —			場合の土の敷均し作	業に適用する。							四 締固めを行わな	い場合の土の
		種の選		ルキナ 無 淮 L 上フ							幾種の選		カス 小士と無
	11年兼	ミに1史用す	る機械・規格は,	,次表を標準とする	0.					1	作業に使用す	する機械・規格	は、火衣を悰
				表 2. 1	機種の選定								表
	作業		作業の	内 容	機械名		規	格		作業		11 /10	の内
				作業で、施工幅員			ガス対策型(第	1次基準信	直)			狭い箇所の敷地	
			上 4m未満の場合	<u>`など</u>			3 t 級		10)			以上 4m未満の	場合など
	敷	標準					ガス対策型(第 15 t 級	31次基準值	直)	敷	標準		
	均	標準以外	L		ブルドーザ		ガス対策型(第	1 次 其 淮 作	4)	均	標準以	ΔL	
	し	(示 4-6) / 1	1-				21 t 級	71 八坐午	<u>.</u> ,		(赤年)(5)	/ I ²	
		トラフィ	カビリティが不	 足して普通ブルドー	-		ガス対策型(第	1 次基準値	直)		トラフ	ィカビリティカ	ぶ不足して普通
			目できない場合な				16 t 級		_,			用できない場合	
	(注) 作	業の内容	ドが標準以外とは,	,他の工種の使用機	種を考慮し選定	ごした場	詩合である。			(注)	作業の内容	容が標準以外と	は、他の工種
			_									_	
		り施工量		士子 亜洲 上マ							日当り施工		火 士子 1年光 1
	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	・美の日音	的施工量は,次	表を標準とする。						1 1	合作業の日	当り施工量は,	伙表を標準と
			į	表3.1 各作業の	日当り施工量			(1日当り)				表3.1
	1616	í#		表3.1 各作業の		H (+	作業)	1-6	/k 145		表3.1
	機			規格	È	単位)	杉	幾 種		規
	機		非出ガス対策型(規格第1次基準値)普通	直3 t 級	単位	作 業 ² 標準 126	条 件 障害あり)	杉		排出ガス対策な	規 棋
	機ブルド	力	非出ガス対策型(〃	規 格 第1次基準値)普通 普通	直3 t 級 直15 t 級	単位 - m3 -	作 業 章 標準 126 684	条 件 障害あり 351				排出ガス対策な	規 株型 (第1次基準 #
		力	非出ガス対策型(<i>"</i> "	規 格 第 1 次基準値)普通 普通 普通	重		作業 標準 126 684 981	条 件 障害あり 351 567				排出ガス対策を	規 # 型(第1次基準 " "
	ブルド	サーザー	非出ガス対策型(〃 〃 〃	規 格 第1次基準値)普通 普通 湿地	13 t 級 15 t 級 121 t 級 也 16 t 級		作 業 章 標準 126 684	条 件 障害あり 351		ブル	レドーザー		規 株型 (第1次基準 """"""""""""""""""""""""""""""""""""
	ブルド	- ザ - ボ - 作業条	非出ガス対策型(" " " " " " " " " " " " "	規 格 第1次基準値)普通 普通 を考慮し、選択する	重3 t 級 重15 t 級 重21 t 級 也16 t 級 ものとする。		作業 標準 126 684 981	条 件 障害あり 351 567		ブル	レドーザー	条件は次の諸名	規 株型 (第1次基準 """"""""""""""""""""""""""""""""""""
	ブルド	- ザ - ボ - 作業条	非出ガス対策型(規 格 第1次基準値)普通 普通 湿地	重3 t 級 重15 t 級 重21 t 級 也16 t 級 ものとする。		作業 標準 126 684 981	条 件 障害あり 351 567		ブル	レドーザー 1. 作業:	条件は次の諸名 準:作業現場	規 株型 (第1次基準 """"""""""""""""""""""""""""""""""""
	ブルド	- ザ - 作業条 標	非出ガス対策型(規 第1次基準値)普通 普通 ・ ・ ・ を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害	重3t級 15t級 15t級 16t級 10tのとする。 が少ない場合。		作業 標準 126 684 981	条 件 障害あり 351 567		ブル	レドーザ - 1. 作業 標	条件は次の諸名 準:作業現場	規 ^株 型(第1次基準 " " " " " " * * * * * * * * * * * * *
	ブルド	・作業条標	非出ガス対策型(" " " " (件は次の諸条件 準:作業現場が (例:バイ)り:作業現場が (例:現道	規 第1次基準値)普通 普通 を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害 パス工事等) 狭い、または作業障 上の工事・一車線程	13 t 級 15 t 級 15 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 17 ない場合。 18 をが少ない場合。 18 を変わり、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	m3 -	作業 標準 126 684 981	条 件 障害あり 351 567		ブル	レドーザー 1. 作業 標 障害。	条件は次の諸 準:作業現場 (例:/ あり:作業現場 (例:男	規 様型 (第1次基準 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "
	ブルド	・作業条標	非出ガス対策型(" " " " (件は次の諸条件 準:作業現場が (例:バイ)り:作業現場が (例:現道	規 第1次基準値)普通 普通 湿地 を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害 パス工事等) 狭い、または作業障	13 t 級 15 t 級 15 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 17 ない場合。 18 をが少ない場合。 18 を変わり、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	m3 -	作業 標準 126 684 981	条 件 障害あり 351 567		ブル	レドーザー 1. 作業 標 障害。	条件は次の諸 準:作業現場 (例:/ あり:作業現場	規 様型 (第1次基準 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "
	ブルド (注) 1	- ザ - 作業条 標 障害あ	非出ガス対策型 (" " " " " " " " " " " " " " " " " "	規 第1次基準値)普通 普通 を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害 パス工事等) 狭い、または作業障 上の工事・一車線程	13 t 級 15 t 級 15 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 17 ない場合。 18 をが少ない場合。 18 を変わり、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	m3 -	作業 標準 126 684 981	条 件 障害あり 351 567		ブル(注)	ルドーザー 1. 作業 標 障害。 2. 上表	条件は次の諸 準:作業現場 (例:/ あり:作業現場 (例:明 は土の敷均し作	規 様型 (第1次基準 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "
	ブルド (注) 1 2 4. 補	- ザ - 作業条 障害を ・ 上表は 助 労	非出ガス対策型(規 格 第1次基準値)普通 普通 湿地 を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害 パス工事等) 狭い、または作業障 上の工事・一車線程 のみであるので、C	13 t 級 15 t 級 15 t 級 121 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 17 か少ない場合。 18 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	m3 -	作業 標準 126 684 981 558	条 件 障害あり 351 567 351		ブル (注)	ルドーザ 1.作業 障害 2.上表 輔 助 労	条件は次の諸名 準:作業現場 (例:/ あり:作業現場 (例:5 は土の敷均し作	規 #型 (第1次基準 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "
	ブルド (注) 1 2 4. 補	- ザ - 作業条 障害を ・ 上表は 助 労	非出ガス対策型(規 第1次基準値)普通 普通 を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害 パス工事等) 狭い、または作業障 上の工事・一車線程	13 t 級 15 t 級 15 t 級 121 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 17 か少ない場合。 18 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	m3 -	作業 標準 126 684 981 558	条 件 障害あり 351 567 351		ブル (注)	ルドーザ 1.作業 障害 2.上表 輔 助 労	条件は次の諸 準:作業現場 (例:/ あり:作業現場 (例:明 は土の敷均し作	規 #型 (第1次基準 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "
	ブルド (注) 1 2 4. 補	- ザ - 作業条 障害を ・ 上表は 助 労	非出ガス対策型(規 格 第1次基準値)普通 普通 を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害 パス工事等) 狭い、または作業障 上の工事・一車線程 のみであるので、C として、普通作業員 表4.1	13 t 級 15 t 級 15 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 17 ものとする。 18 が少ない場合。 18 を計上する。 18 を計上する。補 機械補助労務	m3 -	作業 標準 126 684 981 558	条 件 障害あり 351 567 351) 	ブル (注)	ルドーザ 1.作業 障害 2.上表 輔 助 労	条件は次の諸名 準:作業現場 (例:/ あり:作業現場 (例:5 は土の敷均し作	規 #型 (第1次基準 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "
	ブルド (注) 1 2 4. 補 機械	- ザ 作標 障害 表 労 あ ま 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名	非出ガス対策型(" " " " " " 性は次の諸条件 準:作業現場が (例:バイン のり:作業現場が (例:現道 は土の敷均し作業 務 対りし作業の補助	規 第1次基準値)普通 普通 を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害 パスエ事等) 狭い、または作業障 上のエ事もので、C として、普通作業員 表4.1 規	15 t 級 15 t 級 15 t 級 16 t 級 17 t 級 18 t のとする。 18 まが少ない場合。 18 まが多い場合。 18 まが多い。 18 まがる。 18 まがる	m3 -	作業 標準 126 684 981 558 558	条 件 障害あり 351 567 351		ブル (注)	ドーザ 1.作業 障害 2.上表 対機械による! 機械による!	条件は次の諸名 準:作業現場 (例:ノ あり:作業現場 (例:5 は土の敷均し作 務 敷均し作業の	規 ^枚 ツ (第1次基準 ツ ツ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ サ
	ブルド (注) 1 2 4. 補 機械	・ ボーザ・ ボーボ ボーボ ボーボ ボーボ ボーボ ボーボ ボーボ ボール ボール ボール	非出ガス対策型(" " " " " " " (で) で で 業現場が、 (例: 作業現場が、 (例:現場が、 (例:現道、 土の敷均し作業の 務な均し作業の 補助	規 第1次基準値)普通 普通 湿状する を考慮し、選択する 広く、かつ作業障 パス工事等) 狭い、または作業障 上の工事・ので、 C として、普通作業員 表4.1 規	15 t 級 15 t 級 15 t 級 16 t 級 17 t 級 18 t のとする。 18 まが少ない場合。 18 まが多い場合。 18 まが多い。 18 まがる。 18 まがる	m3 -	作業 第標準 126 684 981 558 558 558 558 558 558 558 558 558 5	条 件 障害あり 351 567 351	00m3当り)	ブル (注)	ルドーザ 1.作業 障害 2.上表 対 機械による!!	条件は次の諸 準:作業現場 (例:/ あり:作業現場 (例:5 は土の敷均し作 務 敷均し作業の補	規 * 型 (第1次基準 " " " " * * * * * * * * * * * * * * *
	ブルド (注) 1 2 4. 補 機械 ブル	- ザ 作標 障害 表 労 あ ま 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名	非出ガス対策型(規 第1次基準値)普通 普通 を考慮し、選択する 広く、かつ作業障害 パスエ事等) 狭い、または作業障 上のエ事もので、C として、普通作業員 表4.1 規	13 t 級 15 t 級 15 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 16 t 級 17 かかない場合。 18 を計上する。 18 を計上する。 18 機械補助労務 18 格 18 番 18 番 18 番 18 番	m3 -	作業 標準 126 684 981 558 558	条 件 障害あり 351 567 351	00m3当り) 数量	ブハ (注)	ドーザ 1.作業 障害 2.上表 対機械による! 機械による!	条件は次の諸 準:作業現場 のり:作業現場 のり:作業列: は土の敷均し作 務 りは土の敷均し作 務 りは土がス対 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	規 ^枚 ツ (第1次基準 ツ ツ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ サ

の敷均し作業に適用する。

:標準とする。

表2.1 機種の選定

旧(現行)

作業	作 業 の 内 容	機械名	規格
	幅員の狭い箇所の敷均し作業で,施工幅員		排出ガス対策型(第1次基準値)
	2.5m以上4m未満の場合など		普通 3 t 級
敷	標準		排出ガス対策型(第1次基準値)
数 均		ブルドーザ	普通 15 t 級
1	標準以外	フルトーリ	排出ガス対策型(第1次基準値)
			普通 21 t 級
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドー]	排出ガス対策型(第1次基準値)
	ザが使用できない場合など		湿地 16 t 級

至極の使用機種を考慮し選定した場合である。

きとする。

各作業の日当り施工量

(1月当り)

機種	規格	単位	作業	条件
1茂 1里	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	中位	標準	障害あり
	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級		12	26
ブルドーザ	# 普通 15 t 約	<u></u> m3	684	351
7 70 F — 9	# 普通 21 t 約	及 1113	981	567
	" 湿地 16 t λ	及	558	351

選択するものとする。

つ作業障害が少ない場合。

たは作業障害が多い場合。

・一車線程度の現道拡幅工事等)

っるので、C=1.0とする。

普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。

表 4. 1 機械補助労務 (100m3 当り)_

機械名	規格	名 称	単位	数量
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級	普通作業員	人	0.33
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級、普通21t級、湿地16t級	普通作業員	11	0. 22

平成 25 年 10 月 1 日以降~平成 26 年 4 月 29 日迄起工適用

頁				新(改正後)							
-4)-6	4 – 2	土の敷	均し(ルーズ)					4 -2	土の敷均	フし (ルーズ)	_
5)	- \ \	III 64*	m.					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
		用 範	- 囲 締固めを行わない場合の土の敷均し作詞	業に適用する					用 範 答料は 緩	囲 話固めを行わない場合の)
	74.	37116 , 1	明日 マン と 11 42 な く 一切 日 マン エマン <i>がつ</i> り し [F 5	木に週川りる。				77.	良付ける, 州	1回〜2 5 11 42 なん 20 日 42	· _L_ \
		種の追							種の選		
	作	業に使用	する機械・規格は、次表を標準とする。					作	業に使用す	る機械・規格は,次表	さを
			表 2. 1 柞	幾種の選定							3
	作業		作業の内容	機械名	規	格		作業	,	作業の内	
			狭い箇所の敷均し作業で,施工幅員		排出ガス対策型(第	31 次基準値	直)			Pい箇所の敷均し作業で	ī, ļ
		-	人上 4m未満の場合など	4	普通 3 t 級	* - VI + + WF 1-	+->			上 4m未満の場合など	
	敷	標準			排出ガス対策型(第 普通 15 t 級	3 I 次基準値	直)	敷	標準		
	均	標準以	外	ブルドーザ	排出ガス対策型(第	1 次 基 準 信	<u></u> 首)	均	標準以外	<u> </u>	
	l				普通 21 t 級	V 1 9 (AL)			I W 1 90	•	
		トラフ	ィカビリティが不足して普通ブルドー		排出ガス対策型(第	第1次基準値	直)		トラフィ	カビリティが不足して	(普)
			用できない場合など		湿地 16 t 級]できない場合など	
	(注) 1	作業の内	容が標準以外とは,他の工種の使用機種	種を考慮し選定	した場合である。			(注) 1	作業の内容	ドが標準以外とは,他の	工利
	3 日:	当り施丁	 - - - - - - - - - 					3 F	当り施工量	ŀ	
		当り施工 作業の日	量 当り施工量は,次表を標準とする。					· ·	当り施工量 作業の日当	t らり施工量は,次表を標	準と
			ー 当り施工量は、次表を標準とする。					· ·		らり施工量は,次表を標	
				日当り施工量		(1日当り) タ <i>(</i> (t))	· ·			
		作業の日	ー 当り施工量は、次表を標準とする。		作業	条件)	各个		らり施工量は,次表を標	
	各位	作業の日種	当り施工量は、次表を標準とする。 表3.1 各作業の	Ĕ	作業	条 件 障害あり)	各个	作業の日当種	がり施工量は、次表を標 表3.	1
	卷	作業の日種	当り施工量は、次表を標準とする。 表3.1 各作業の 規 格 排出ガス対策型(第1次基準値)普通 ッ 普通	3 t 級 15 t 級	作業 標準 112 608	条 件 障害あり)	機	作業の日当種	がり施工量は、次表を標 表3. 規	1
	卷	作業の日種	当り施工量は、次表を標準とする。 表3.1 各作業の 規 格 排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 " 普通	3 t 級 15 t 級 21 t 級	作業 標準 m3 <u>608</u> <u>872</u>	条 件 障害あり 2 312 504)	機	作業の日当種	振り施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第1岁 "	1
	機ブル	作業の日 種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	当り施工量は、次表を標準とする。 表3.1 各作業の 規 格 排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 " 普通 " 普通	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級	作業 章 標準 <u>112</u> m3	条 件 障害あり 2 312		機ブル	作業の日当 種 ドーザ	振り施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第1数 "	1 大基
	機ブル	作業の日 種 1.作業	当り施工量は、次表を標準とする。 表3.1 各作業の 規 格 排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 " 普通 " 普通 " 湿地 条件は次の諸条件を考慮し、選択する。	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。	作業 標準 m3 <u>608</u> <u>872</u>	条 件 障害あり 2 312 504)	機ブル	作業の日当 種 ドーザ 1.作業条	表3. 規 非出ガス対策型(第1数 " " " " " " " " " " " " " " " "	1 欠基:
	機ブル	作業の日 種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	当り施工量は、次表を標準とする。 表3.1 各作業の 規 格 排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 " 普通 " 普通	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。	作業 標準 m3 <u>608</u> <u>872</u>	条 件 障害あり 2 312 504		機ブル	作業の日当 種 ドーザ 1.作業条	表3. 規 非出ガス対策型(第18 """ """ (件は次の諸条件を考慮 準:作業現場が広く,	1 次基 ^注 (し, か)
	機ブル	作業の日 種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ に 標	表3.1 各作業の 規 格 排出ガス対策型(第1次基準値)普通 ッ 普通 ッ 電通 ッ 湿地 条件は次の諸条件を考慮し、選択する。	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。 が少ない場合。	作業 標準 m3 <u>608</u> <u>872</u>	条 件 障害あり 2 312 504		機ブル	作業の日当 種 ボーザ 1. 作業条	表3. 規 非出ガス対策型(第1数 " " " " " " " " " " " " " " " "	大基 () かっこ事等
	機ブル	作業の日 種 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表3.1 各作業の 規格 排出ガス対策型(第1次基準値)普通 リ 普通 リ 電通 リ 電通 リ を を (例:バイパス工事等) あり:作業現場が強い、または作業障害 (例:現道上の工事・一車線程度	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。 が少ない場合。 書が多い場合。 妻の現道拡幅工	作業 章 標準 112 112 112 112 112 112 112 112 112 11	条 件 障害あり 2 312 504		巻 機 ブル (注)	作業の日当 種	まり施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第1が " " " 性は次の諸条件を考慮 準:作業現場が広く, (例:バイパスエ り:作業現場が狭い, (例:現道上のエ	1
	機ブル	作業の日 種 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表3.1 各作業の日 規格 排出ガス対策型(第1次基準値)普通 別 普通 別 普通 別 2 条件は次の諸条件を考慮し、選択するを 準:作業現場が広く、かつ作業障害を (例:バイパス工事等) あり:作業現場が狭い、または作業障害	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。 が少ない場合。 書が多い場合。 妻の現道拡幅工	作業 章 標準 112 112 112 112 112 112 112 112 112 11	条 件 障害あり 2 312 504		巻 機 ブル (注)	作業の日当 種	表3. 規 非出ガス対策型(第18 "" "" "" "" "" (件は次の諸条件を考慮 準:作業現場が広く, (例:バイパスエ	1
	機ブルブル	作業の日 種	表3.1 各作業の日 規格 排出ガス対策型(第1次基準値)普通 リ 普通 リ 福通 リ 福通 リ 福通 リ 福通 (例:バイパス工事等) あり:作業現場が狭い,または作業障害が(例:現道上の工事・一車線程度は土の敷均し作業のみであるので, C=	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。 が少ない場合。 書が多い場合。 妻の現道拡幅工	作業 章 標準 112 112 112 112 112 112 112 112 112 11	条 件 障害あり 2 312 504		機ブル(注)	作業の日当 種 ボーザ 1.作業条 章 と表は 2.上表は	まり施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第1が "" " (件は次の諸条件を考慮 準:作業現場が広く、 (例:バイパスエッり:作業現場が狭い、 (例:現道上のエは土の敷均し作業のみで	1
	巻 機 ブル (注)	作業の日 種 ・ ・ ・ ・ 作標 障 上 助	表3.1 各作業の日 規格 排出ガス対策型(第1次基準値)普通 リ 普通 リ 福通 リ 福通 リ 福通 リ 福通 (例:バイパス工事等) あり:作業現場が狭い,または作業障害が(例:現道上の工事・一車線程度は土の敷均し作業のみであるので, C=	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。 が少ない場合。 書が多い場合。 妻の現道拡幅エ =1.0 とする。	作業 第	条 件 障害あり 2 312 504 312		巻 機 ブル (注)	作業の日当 種 ボーザ 作標 障 上表は 2. 上 労	まり施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第1が "" " (件は次の諸条件を考慮 準:作業現場が広く、 (例:バイパスエッり:作業現場が狭い、 (例:現道上のエは土の敷均し作業のみで	1 大基 し、かな事ま事を
	巻 機 ブル (注)	作業の日 種 ・ ・ ・ ・ 作標 障 上 助	表3.1 各作業の 規格 排出ガス対策型(第1次基準値)普通 " 普通 " 電通 " 電通 " 電通 " 湿地 条件は次の諸条件を考慮し、選択する。 準:作業現場が広く、かつ作業障害で (例:バイパス工事等) あり:作業現場が狭い、または作業障害 (例:現道上の工事・一車線程度は土の敷均し作業のみであるので、C= 務 数均し作業の補助として、普通作業員を	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 6 かとする。 が少ない場合。 まが多い場合。 まの現道拡幅エ =1.0 とする。 を計上する。補	作業 第	条 件 障害あり 2 312 504 312		巻 機 ブル (注)	作業の日当 種 ボーザ 作標 障 上表は 2. 上 労	まり施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第1が "" "" "" (件は次の諸条件を考慮 準:作業現場が広く、 (例:バイパスエ のり:作業現場が狭い、 (例:現道上のエ は土の敷均し作業のみで 務	1 大基 し、かつ事がある
	巻 グル (注)	作業の日 種 ザ 作標 障 上 助に ま 労る	表3.1 各作業の日期 を	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。 が少ない場合。 書が多い場合。 きの現道拡幅工 =1.0 とする。 を計上する。 機械補助労務	### ### ### ### #####################	条 件 障害あり 2 312 504 312	00m3当り)	巻 機 ブル (注)	作業 の日 日 1. 標 障 上 サ 、	まり施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第120 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	1 大基 しか事がまる。 まある。 まままる。 まる。 。 まる。 もる。 も。 も。
	各 機 ブル (注) 4. 補機 機	作業の日 1. 標障上 よ 3. 助に 大大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大	表3.1 各作業の日期 を	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。 が少ない場合。 書が多い場合。 書が多い場合。 を計上する。 を計上する。補 機械補助労務	### ### ### #########################	条 件 障害あり 2 312 504 312	00m3当り) 数量	巻 機 ブル (注)	作業 種 ボ 1. 標 障 上 よ 米 ま 表 労 易 様 様	まり施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第1次 "" "" "件は次の諸条件を考慮 準:作業現場が広く、 (例:バイパスエッり:作業現場が狭い、 (例:現道上の工 生土の敷均し作業のみで 務な対し作業の補助として 規	1 大基 しか 事 ま 事 を で 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	各 機 ブル 注) 4. 補機 ブル	作業の日 種 ザ 作標 障 上 助に ま 労る	表3.1 各作業の日規 格	3 t 級 15 t 級 21 t 級 16 t 級 ものとする。 が少ない場合。 書が多い場合。 書が多い場合。 を計上する。 を計上する。補 機械補助労務	### ### ### ### #####################	条 件 障害あり 2 312 504 312	00m3当り)	巻 ブル (注) 4. 補機 ブル	作業 の日 日 1. 標 障 上 サ 、	まり施工量は、次表を標表3. 規 非出ガス対策型(第120 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	1 大基 しか事まする 音 ま 1 次 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

旧(現行)

土の敷均し作業に適用する。

を標準とする。

表2.1 機種の選定

作業	作 業 の 内 容	機械名	規格
	幅員の狭い箇所の敷均し作業で,施工幅員 2.5m以上4m未満の場合など		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3 t 級
敷	標準		排出ガス対策型(第1次基準値)
均	標準以外	ブルドーザ	普通 15 t 級 排出ガス対策型(第 1 次基準値)
し	保华以外		辨山ルへ対東空(第1次基準値) 普通 21 t 級
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドー ザが使用できない場合など		排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地 16 t 級

L種の使用機種を考慮し選定した場合である。

準とする。

各作業の日当り施工量

(1日当り)

機種	規格	単位	作業	条件
1茂 1里	·	中位.	標準	障害あり
	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級		<u>12</u>	<u>26</u>
ブルドーザ	" 普通 15 t 級	m3	<u>684</u>	<u>351</u>
7 70 F — 9	" 普通 21 t 級	1113	<u>981</u>	<u>567</u>
	" 湿地 16 t 級		<u>558</u>	<u>351</u>

- し、選択するものとする。
 - かつ作業障害が少ない場合。

または作業障害が多い場合。

事・一車線程度の現道拡幅工事等)

あるので、C=1.0とする。

普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。

表 4. 1 機械補助労務

(100m3 当り)

機械名	規格	名 称	単位	数量
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級	普通作業員	人	0.33
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級, 普通21t級, 湿地16t級	普通作業員	IJ	<u>0. 22</u>

十木丁事標準積算基準「Ⅰ〕(平成25年10月1日)新旧対照表

土不丄爭標	準積算基準 [I] (平成 2 5 年 1 0 月 1 日) 新旧対照表	
頁	新(改正後)	旧(現行)
Ⅲ-2-⑨-2 (①818)	4. 機械の施工歩掛 (1) バックホウの作業日数 バックホウの作業日数は次表による。	4. 機械の施工歩掛 (1) バックホウの作業日数 バックホウの作業日数は次表による。
	表 4. 1 掘削積込 100m3 当り作業日数 (日) 作業日数 0.76	表 4. 1 掘削積込 100m3 当り作業日数 (日) 作業日数 0.76
	(2) ダンプトラックの運搬日数	(2) ダンプトラックの運搬日数
	(略)	(略)
	5. 単 価 表 (1)機械土工(超ロングアームバックホウ土工)100m3当り単価表 コード番号 S1063	5. 単 価 表 (1)機械土工(超ロングアームバックホウ土工)100m3当り単価表 コード番号 S1063
	名称 規格 単位数量 摘要 超ロングアーム 排出ガス対策型(第1次基準値) バックホウ運転 クローラ型山積 0.4m3 (平積 0.3m3) 日 0.76 表 4.1	名称 規格 単位数量 摘要 超ロングアーム 排出ガス対策型(第1次基準値) 日の.76 表4.1
	諸 雑 費 式 1	諸 雑 費 式 1
	<u> </u>	計
	(2) ダンプトラック運搬 100m3 当り単価表	(2)ダンプトラック運搬 100m3 当り単価表
	(昭各)	(略)
	(3)機械運転単価表	(3)機械運転単価表
	(略)	(略)
	平成 25 年 10 月 1 日以降~平成 26 年 4 月 29 日迄起工適用	

十木丁事標準積算基準「Ⅰ〕(平成25年10月1日)新旧対照表

工个工事標	準積算基準 〔 I 〕 (平成 2 5 年 1 0 月 1 日)新旧対照表					
頁	新(改正後)	旧(現行)				
Ⅲ-2-⑨-2 (①818)	4. 機械の施工歩掛 (1) バックホウの作業日数 バックホウの作業日数は次表による。	4. 機械の施工歩掛 (1) バックホウの作業日数 バックホウの作業日数は次表による。				
	表 4. 1 掘削積込 100m3 当り作業日数 (日) 作業日数 <u>0.85</u>	表 4. 1 掘削積込 100m3 当り作業日数 (日) 作業日数 <u>0.76</u>				
	(2) ダンプトラックの運搬日数	(2) ダンプトラックの運搬日数				
	(略)	(略)				
	5. 単 価 表 (1)機械土工(超ロングアームバックホウ土工)100m3当り単価表 コード番号 S1063	5. 単 価 表 (1)機械土工(超ロングアームバックホウ土工)100m3当り単価表 コード番号 S1063				
	名称 規格 単位数量 摘要 超ロングアーム 排出ガス対策型(第1次基準値) 日の5 末4.1	名称 規格 単位数量 摘要 超ロングアーム 排出ガス対策型(第1次基準値) ローンのでは、まままます。				
	バックホウ運転 クローラ型山積 0.4m3 (平積 0.3m3) 日 <u>0.85</u> 表 4.1	バックホウ運転 クローラ型山積 0.4m3 (平積 0.3m3) 日 <u>0.76</u> 表 4.1				
	諸 雑 費 式 1 1 1 1 1 1 1 1 1	諸 雑 費 式 1 計				
	(2) ダンプトラック運搬 100m3 当り単価表	(2) ダンプトラック運搬 100m3 当り単価表 (略)				
	(略)	(即合 <i>)</i>				
	(3)機械運転単価表	(3)機械運転単価表				
	(略)	(略)				
	亚皮 00 年 4 日 20 日 以收 扫 了 英田					
	平成26年4月30日以降起工適用					

頁	新(改正後	爱)		旧(現行	亍)			
3 -①- 2 (①862)	3. 機種の選定		3. 機種の選定					
	(略)		(略)					
	4. 施 工 歩 掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐし土量及び締固を 章土工①土量変化率等」の土量換算係数fを乗じて算出 4-1 バックホウの作業能力 運転1日当り土工量は、次表を標準とする。	, , ,	章土工①土量変化率 4-1 バックホウの作業	:(地山土量)をほぐし土量及び締固 等」の土量換算係数 f を乗じて算出		量の状態に換	算する場合は,	「第Ⅱ編第
	表4.1 日当り施工量		表4.1 日当り施	工量	N/I		٦	
	作業の種類 土 質 名	単位 数 量	作業の種類	土 質 名	単位	数 障害なし	量 障害あり	-
	地 山 の レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3 198 144		レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	198	144	1
	掘 削 積 込 岩塊玉石 レキ質土・砂・砂質土・粘性土	" 162 108 " 216	掘削積込	岩塊玉石 レキ質土・砂・砂質土・粘性土	JJ	162	108	_
	ルーズな状態の 岩塊玉石 積 込 み ************************************	" 180	ルーズな状態の 積 込 み	岩塊玉石	"		.80	-
	一	" 144		破砕岩	11		.44	
	なく、連続した掘削作業が出来る場でである。 では、	内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少 場合。 外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多 合。 の割増を行う。岩石作業の補正は,+0.25 とする。	 地山の掘 障害なし 障害あり 破砕岩 	は、機械走行面より上下に5m以内 削積込(現場条件の内容) :作業現場が広い,作業範囲が標準 なく,連続した掘削作業が出来る :作業現場が狭い,作業範囲が標準 く,連続した掘削作業が困難な場 (中硬岩以上)の積込みは、機械損料 状態の積込みは、締固めを伴わない	内及び転場合。 場合。 外及び転場合。 場合。	石の混入等の 石の混入等の 行う。岩石作	影響による作業	美妨害が多

平成 25 年 10 月 1 日以降~平成 26 年 4 月 29 日迄起工適用

頁 新(改正後)		旧(現行)			
-(1)-2 862)	3. 機種の選定	3. 機種の選定			
	(略)	(略)			
	 4.施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐし土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」の土量換算係数fを乗じて算出する。 4-1 バックホウの作業能力 運転1日当り土工量は、次表を標準とする。 	 4.施工歩掛 (1) 土量の表示すべて地山土量で表示する。 ただし,施工土量(地山土量)をほぐし土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は,「第Ⅱ編第章土工①土量変化率等」の土量換算係数fを乗じて算出する。 4-1 バックホウの作業能力運転1日当り土工量は,次表を標準とする。 			
	表4.1 日当り施工量	表4.1 日当り施工量			
	作業の種類 土質名 単位 数量 障害なり 障害あり	作業の種類 土質名 単位 <u>数量</u> 障害なし 障害あり			
	地 山 の 掘 削 積 込 お地玉石 " 144 96 ルーズな状態の積 とき質土・砂・砂質土・粘性土 " 196 岩塊玉石 " 160 破砕岩 " 128 (注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容)	地 山 の レキ質土・砂・砂質土・粘性土 m3 198 144 掘 削 積 込 出 108 ルーズな状態の積 込 力 世・経費土・砂・砂質土・粘性土 " 216 岩塊玉石 " 180 破砕岩 " 144 (注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容)			
	障害なし:作業現場が広い,作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく,連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり:作業現場が狭い,作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く,連続した掘削作業が困難な場合。 3.破砕岩(中硬岩以上)の積込みは,機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は,+0.25とする。4.ルーズな状態の積込みは,締固めを伴わない埋戻作業に適用出来る。	障害なし:作業現場が広い,作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく,連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり:作業現場が狭い,作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く,連続した掘削作業が困難な場合。 3.破砕岩(中硬岩以上)の積込みは,機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は,+0.25とする4.ルーズな状態の積込みは,締固めを伴わない埋戻作業に適用出来る。			

平成 26 年 4 月 30 日以降起工適用